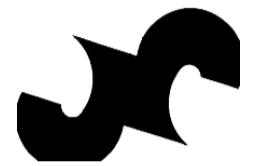


工業部会通信



相模原商工会議所 工業部会発行
編集 かながわ経済新聞社
代表：千葉龍太
〒252-0239
相模原市中央区中央3-12-3
TEL：042 (851) 2021
プリントしてご自由に
お読み下さい。



相模原市、STEPを大幅改正 最大10億円の奨励金交付

市内建設業者への発注 発注者に3%奨励金

相模原市は産業集積促進方策「STEP50」を大幅改正して4月から施行する。航空宇宙やロボット、精密機械などの業種を「リーディング産業」と位置付け、これらの産業に位置する市内外の企業が、市内に工場や本社を建設した場合、最大10億円の奨励金を交付する。市内建設業者に発注した場合は、工事にかかる費用の3%も支給する。新拠点の稼働に伴い正規雇用する場合でも、1人あたり100万円以上を支給していく。「これまで支援を手厚くした産業集積方策は全国的にも珍しい」（産業政策課）としており、企業誘致はもちろん、市内産業の活性化につながるも期待される。

4月から新制度が施行

「STEP50」は工業系産業用地の空洞化対策として2005年に制定したもので、今回大幅に拡充した。新制度で対象となる産業は、航空宇宙やロボットをはじめ、再生可能エネルギーや医療・介護・健康、食品産業など幅広い。精密機械や自動車、電機、金属製品といった、すそ野が広い産業も対象になっている。これらの企業が市内に新拠点を建設する場合、「家屋建設費」の10%、最大10億円の奨励金を市が支給する。一方、リーディング産業以外に該当する企業でも、「工業団地が整備される」「金原地区」「当麻地区」「麻溝台・新磯野地区」といった地域に立地する場合には、工業用地取得費の10%、最大10億円の奨励金が出される。市外の企業が市内に進出するケースには、奨励



市内製造業などの活性化にもつなげる（写真はイメージ）

精密コバヤシ 荷台からの転落防止 「あおりの鉄人」を発売

工業部会員のコバヤシ精密工業（相模原市南区大野台、042-751-9095）は、「受託型製造業」からの脱却を進める。得意の金属加工技術を活用した自社製品を続々と開発し、建設や物流業界での販路を開拓していく。第1弾として、トラックの荷台からの転落防止



止するスチール製器具「あおりの鉄人」II写真IIを開発。全国の工務店や物流業者に売り込む。トラックから荷物を積み下ろす際、荷台の両端に立ちながら作業をしようとすると、滑ったりして転倒する可能性がある。こうした転倒事故は全国で報告例があり、国も安全対策を呼びかけている。コバヤシ精密は、取引先のパイプ製造業者からの「とくに雨の日の搬送作業は危ない。トラックに容易に取り付けられる器具はないか」との話を聞き、今年6月から開発に着手した。人が立てる作業台を荷台の脇に挟んで固定。しっかりとした足場をつくる。鉄筋の耐久性などを計測

企業の生産拠点が相次ぎ規模を縮小。圏央道の全面開通を見据えて、工場跡地に大規模な物流拠点が立地するなど、産業の空洞化が課題だった。今回、新たな産業集積促進方策が施行されることで、市内外の企業の誘致が進むことになり、市内工業や建設業の活性化に弾みがつくことになる。

「ロボ社会」で講演会を開催

近未来技術研究会は9日、一般公開の講演会を開催する。テーマは「どうなる近未来ロボット革命？ あなたの家にもロボットが！これが最新テクノロジーだ」。講師は、アストラテックのチーフロボットクリエイターの吉崎航（よしざきわたる）氏と、プレイブロボティクス代表の石田賢司氏。吉崎氏は、安倍首相が主導する「ロボット革命実現会議」への20代唯一の参画者。ロボット制御ソフトウェア「ブシドーオーエス」の開発者としても知られている。



Town Value-up Management

タウンバリューアップマネジメント

街の新たな価値創造をめざして

街並の美観向上

定住人口の増加

Town Value-up Management

来街者の増加

資産価値の向上



東急建設株式会社
http://www.tokyu-cnst.co.jp/

美しい時代へ—東急グループ